

### Ⅲ. 新庁舎の基本理念及び基本方針

#### 1. 新庁舎の役割

---

市庁舎には、第一に、市民の生活状況の変化や節目ごとに様々な支援やサービスを提供する中核的な公共施設としての役割と、それを支える行政活動の拠点・職員の執務空間としての役割が求められています。

また、災害時の防災拠点として市民の安全を守る役割、環境への取り組みを先導して行っていく施設としての役割もますます重要となっています。

これらの役割を果たすため、庁舎の4つの役割を整理し、庁舎の基本理念を定めます。

#### 2. 新庁舎の基本理念

---

### 市民の安全・安心な暮らしを支え みんなにやさしい庁舎

- 【役割1】 防 災 拠 点 （災害対策活動の司令塔）
- 【役割2】 市民サービス （市民、来庁者に質の高いサービスの提供）
- 【役割3】 環 境 配 慮 （自然環境への負荷軽減など環境共生の先導的な役割）
- 【役割4】 執 務 空 間 （職員の事務効率の向上）

#### 3. 新庁舎の整備方針

---

##### （1）新庁舎の基本方針

新庁舎の基本理念を具体化するため、5つの基本方針を定めます。

##### 役割 1. 防災拠点

庁舎は、災害時において、市民の生命を守るための防災拠点となり、災害対策活動の司令塔としての役割を果たすことが求められています。

##### <基本方針1>防災拠点の機能が果たせる庁舎

---

- ・高い耐震性能を確保できる構造とします。
- ・防災拠点（災害対策本部）としての機能、設備を備えた庁舎とします。

## 役割 2. 市民サービス

庁舎は、市民をはじめとした来庁者に対して、質の高いサービスを提供する施設であることが求められています。

### ＜基本方針 2＞誰もが利用しやすい庁舎

- ・来庁者にとって利用しやすい窓口、相談機能を検討します。
- ・出入口、通路、パブリックスペース、駐車場など庁舎全体にユニバーサルデザインを導入し、誰にもやさしい庁舎を目指します。
- ・掲示板やサイン等を充実させ案内性に優れた庁舎を目指します。

### ＜基本方針 3＞市民に親しまれる庁舎

- ・市民サービスの充実を図れる利便施設を検討します。
- ・市民交流スペースを庁舎施設内外に検討します。
- ・市民協働用会議室や研修施設等の市民共用のスペースを検討します。
- ・市民が行政や議会を身近に感じられる庁舎を目指します。

## 役割 3. 環境配慮

庁舎は、自然環境への負荷軽減やライフサイクルコストの低減など、環境共生の先導的役割を果たすことが求められています。

### ＜基本方針 4＞経済性に配慮した環境にやさしい庁舎

- ・省資源、省エネルギー対策に配慮した庁舎を目指します。
- ・施設の長寿命化、維持管理の効率化、スペースの汎用性、将来の施設改修・設備更新への対応を容易にするなど、ライフサイクルコスト縮減に考慮し、耐久性や経済性に優れた庁舎を目指します。

## 役割 4. 執務空間

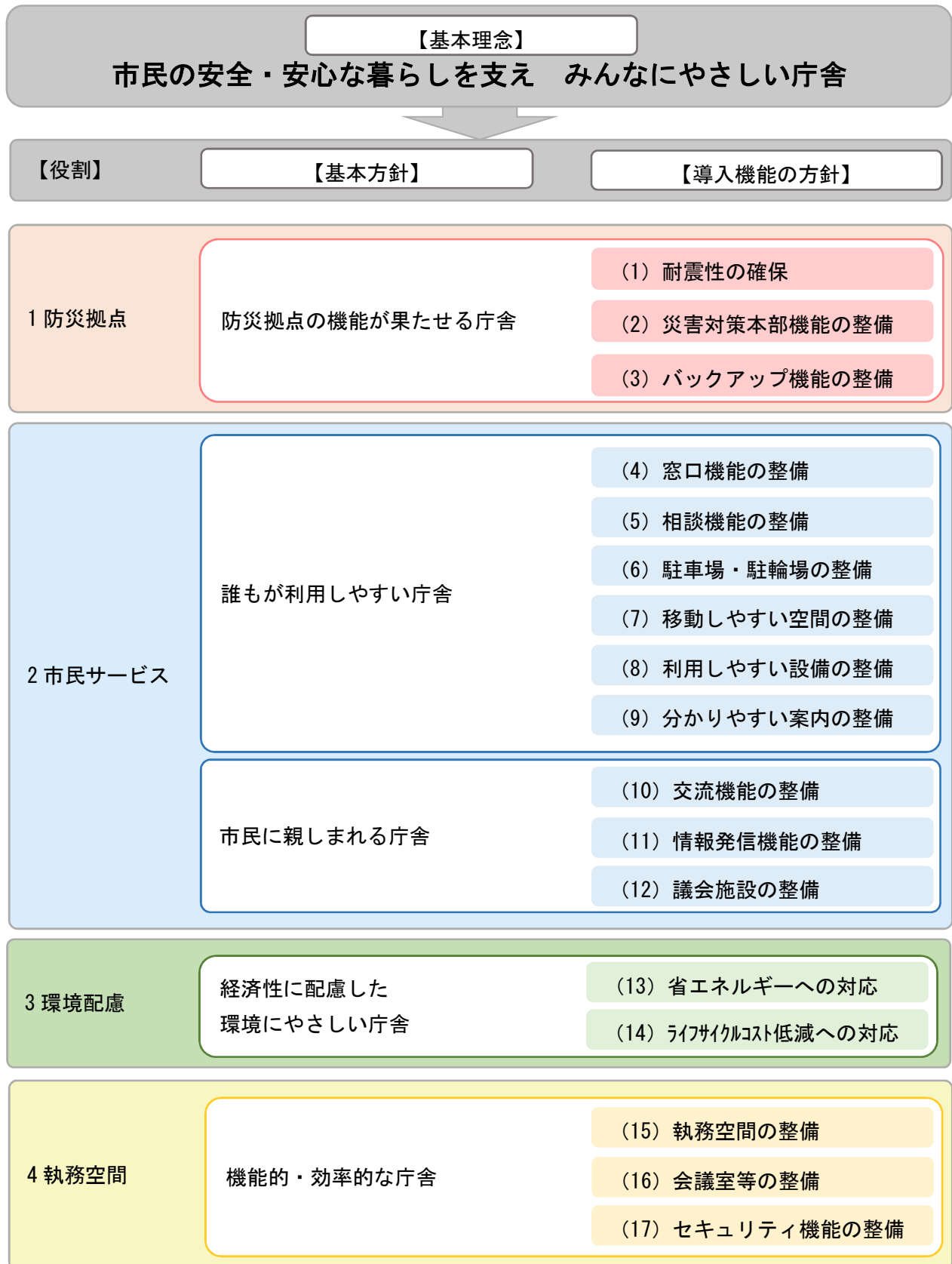
庁舎は、様々な行政事務を職員が効率よく行うための執務空間とすることが求められています。

### ＜基本方針 5＞機能的・効率的な庁舎

- ・適正な執務空間を確保するとともに、今後の行政需要の多様化、社会情勢の変化、あるいは情報化の進展など、様々な変化に対応できる空間・設備を導入し、機能的で効率的な柔軟性の高い庁舎を目指します。
- ・情報管理など高いセキュリティ機能を備え、市民の情報財産を守り、外部からの進入防止などを備えた安全・安心な庁舎を目指します。

(2) 新庁舎の導入機能の方針

庁舎の基本理念及び基本方針にもとづき、新庁舎の導入機能の方針をまとめ、下記のような機能を備えた庁舎を目指します。



図Ⅲ-3. 1 新庁舎の基本方針

## 4. 新庁舎の機能

### (1) 導入機能の整備方針

#### 《基本方針1》防災拠点の機能が果たせる庁舎

##### 【導入機能の方針1】耐震性の確保

- 新庁舎は、高い耐震性能を備え、大地震直後から補修をすることなく使用できる建物とします。
- 地震発生時に建物内部の被害や職員の初動対応にも影響が少ないと考えられる『免震構造』を基本とした構造を検討します。

##### 【導入機能の方針2】災害対策本部機能の整備

- 市庁舎は市民の生命を守るための防災拠点、災害対策活動の司令塔としての役割を果たすことが求められます。
- 地震や風水害などの災害発生時に、被災状況を的確に把握し、地域の防災組織や関係機関と連携して、速やかに対応・対策がとれる防災拠点としての庁舎を目指します。

##### 【導入機能の方針3】バックアップ機能の整備

- 災害時、庁舎のライフラインが遮断された場合でも、災害対策活動を継続できるように自家発電設備等バックアップ機能を検討します。

#### <先進自治体の事例>



各種情報の視聴、河川水位、道路状況等を監視できる大画面モニターを備えた災害対策本部室



迅速に災害対策活動に入れるように常設された災害対策時用の情報収集スペース



3日間（72時間）連続運転が可能な自家発電装置

## 《基本方針2》誰もが利用しやすい庁舎

### 【導入機能の方針4】窓口機能の整備

- 明るく訪れやすい窓口空間を目指します。
- 庁舎を訪れた市民が迷うことなく簡単に用事を済ませることができるように、わかりやすい部署の配置や案内を充実した庁舎を目指します。

### 【導入機能の方針5】相談機能の整備

- 用途に応じた窓口や相談スペース等の配置を検討し、プライバシーの保護に配慮します。

### 【導入機能の方針6】駐車場・駐輪場の整備

- ゆとりある駐車台数の確保を検討します。
- 駐車場以外の利活用方法（災害対策など）を検討します。

### 【導入機能の方針7】移動しやすい空間の整備

- 窓口はできるだけ低層階に集中させ、市民サービスに配慮した配置を検討します。
- エレベーターや階段などは、動線を考えたわかりやすい配置を検討します。

### 【導入機能の方針8】利用しやすい設備の整備

- 誰もが安心して利用できるユニバーサルデザインを取り入れた庁舎を目指します。

### 【導入機能の方針9】分かりやすい案内の整備

- 案内表示にはわかりやすいピクトグラム（絵文字）や色などを活用し、来庁者が理解しやすいものになるよう検討します。

## <先進自治体の事例>



愛知県小牧市役所

明るく開放的な窓口カウンター



愛知県小牧市役所

授乳室への前室としての役割も  
持つ明るいキッズスペース



愛知県みよし市役所

ピクトグラムを用いた授乳室の  
サインデザイン

## 《基本方針3》市民に親しまれる庁舎

### 【導入機能の方針10】 利便・協働・交流機能の整備

- 市民が来庁時に気軽に立ち寄り、交流などができる、待合機能や交流スペースを検討します。
- 来庁者、職員ともに利用しやすい利便施設（売店、ATMなど）の設置を検討します。

### 【導入機能の方針11】 情報発信機能の整備

- 市政情報、市民活動や地域の情報など各種の情報を共有できるスペースを検討します。

### 【導入機能の方針12】 議会施設の整備

- 議会は、市民の接しやすさや親しみやすさを考慮し、利用しやすい議会傍聴など必要な機能の整備を検討します。

### <先進自治体の事例>



愛知県小牧市役所

各種展示、演奏会等に利用できる  
交流スペース



愛知県小牧市役所

ゆとりがあり利用しやすい情報  
コーナー



愛知県一宮市役所

明るい木目や色彩を用い、照明も  
柔らかく、市民に親しみ易い印象

## 《基本方針4》 経済性に配慮した環境にやさしい庁舎

### 【導入機能の方針13】 省エネルギーへの対応

○省エネルギー、省資源に配慮した構造体や設備システムの導入を検討するとともに、太陽光発電など再生可能エネルギーシステムの導入や、雨水の貯留、有効利用を進め、水道利用量の削減を図ることを検討します。

### 【導入機能の方針14】 ライフサイクルコスト低減への対応

○市民ニーズ、組織改編などへの柔軟な対応を想定して、設備等の維持管理、修繕、更新がしやすく、ライフサイクルコスト低減に配慮した庁舎を目指します。

### ＜先進自治体の事例＞



愛知県小牧市役所

省電力のため、太陽光発電設備を設置している



愛知県小牧市役所

外壁には省エネ効果の高いダブルスキン構造を取り入れている



東京都立川市役所

構造躯体と設備・内装を分離し、設備等の更新が容易に行えるスケルトンインフィル工法を採用している

## 《基本方針5》機能的・効率的な庁舎

### 【導入機能の方針15】執務空間の整備

○職員が効率よく、いきいきと快適に執務を行い、質の高い市民サービスの提供が可能となるように、執務空間、書庫・倉庫、福利厚生スペースについて検討します。

### 【導入機能の方針16】会議室等の整備

○現在の不足状況を解消できるよう、数・広さを確保した会議室、簡易な打ち合わせスペースを検討します。

○将来の事務量の変化にも対応できる書庫・備品倉庫を配置するとともに、法令等に基づく保管文書などについては、専用の保管スペースの確保を検討します。

### 【導入機能の方針17】セキュリティ機能の整備

○市民、職員の利用区分、動線に配慮した防犯対策、情報セキュリティ管理の強化など防犯セキュリティ機能の整備を検討します。

## <先進自治体の事例>



愛知県小牧市役所

柱を設けないことでレイアウト変更にも柔軟に対応できる執務空間としている



愛知県小牧市役所

格子の可動間仕切りにより区切られた打合せスペース



東京都町田市役所

執務スペースと共用スペースを区分けし、執務時間外には執務スペースを閉鎖している



## (2) 導入機能の配置の基本的な考え方

各部局の配置にあたっては、市民サービスの向上や行政の事務効率の向上を図ることができるよう検討します。

### ①低層階

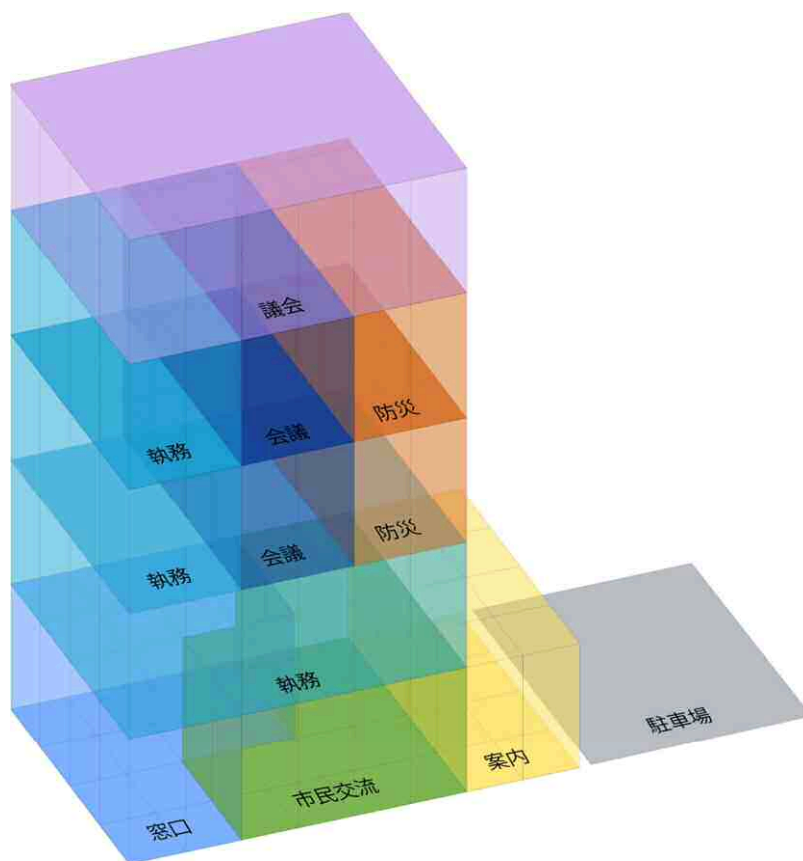
市民等の利用頻度が高い窓口機能、交流機能 など

### ②中層階

市民等の利用頻度が比較的低い執務空間、会議室、災害対策本部機能（防災） など

### ③高層階

市民等の利用頻度が低い執務空間、議会施設 など



図Ⅲ-4. 1 配置イメージ